令和３年度地域の絆づくり事業　第１回講座

「人がつくる森　人をつくる森　–根来山げんきの森の取組-」

令和３(2021)年 11 月 27 日（土）10:00～12:00
根来山げんきの森　（参加者 16 名）

１．ゲスト　岡田和久氏の話

＜和歌山県立森林公園「根来山げんきの森」ができるまで＞

○「森を生かした公園をつくれ！」

・どうしたら県民に来てもらえる公園になるのか。
・完成品としての公園ではなく、初めから「地域の人の意見を聞いてつくる」公園を。
・森林ボランティア 100 名による公園の整備がスタート。

○「げんきの森」の実現

・人が関わって森が元気になる。森と関わって人が元気になる。
・ボランティアは、力がなくても、技術がなくても、どんな形でも関わることができる。
・平成 14 年、県立森林公園「根来山げんきの森」オープン。

＜継続的な活動のために＞

○仲間の力

・環境が変わっていくことを実感し、喜びを共有できた。
・それぞれの得意分野を活かし、業者並みの作業もできてしまう。

○「ボラバイター」の存在

・ボランティア＋アルバイト＝ボラバイター
・毎日２名が公園に常駐できるようにする仕組み。

○新規メンバーの加入

・現メンバーとの温度差をどう埋めるか。
・作業をとおして交流を深める大切さ。
・「森づくり塾」の開催。

○これからの時代に合わせた変化

・ワークショップ形式のイベント開催。
・インターネット、SNS を活用した広報活動。
・「やってみてうまくいったらラッキー」の精神。

2．フィールドワーク

＜「手づくりの森」バリアフリートレイルの散策＞

○里山の意義

・里山は「生活のための山」
・枯れた木にも他の生物の生活を支える役割がある。
・太い木が枯れることで、地面に日が届き、土の中で休眠している種が芽吹く。
・人が手を加えることと、環境の変化に対応する自然の力のバランスをとること。

3．座談会

＜キーワードをもとにした話し合い＞

○キーワード

森の力、森をつくる要素、森を知ることから始まる、マッチングの森、人が集まる力、子供が自然の中で考える、居場所、五感・体験・対話、ボランティア体験、世代間交流、原理原則、生きる力

・教科書にない学びの場
・体験をとおして得られる生き物の役割や力の知識
・自然の中で五感を使い、考え、生まれる対話
・森を中心にいろいろな人がつながる
・異世代が一緒に「する」「遊ぶ」ことで得られる経験
・人づきあいに疲れやすい子の癒しの場
・誰かがいる・誰かに会える場所
・活動をとおして「やること」を見つけると居場所ができる

４．振り返りシートから

○今日の「学び」

・「げんきの森」を中継してつながるいろいろな人によって、取組もたくさんの可能性があるということがよくわかった。
・「げんきの森」のリソースを様々な形に結びつけるアイデアは、今日のような座談会の中から生まれてくるのだと感じ、つながりの大切さを実感した。
・自然相手では大人も子供も平等な立場であり、フラットな目線で関われる。
・人が関わって、森が元気になり、人も元気になる。毎日、何かをやってくれる人がいることがわかった。
・自然と人が出会い、人と人が出会い、多くのつながりの中で人が生きているということを、この短い時間の中でもしっかりと感じることができた。人がひとりでは生きていないということを、この森をとおして多くの人に知ってもらいたいと思った。
・実際に森を歩き、森の持つ力を感じることができた。その後の座談会では、参加者の意見を聞くことができて、とても勉強になった。オンラインで聞くのではなく、直接目と目を合わせて対話することが大切だと感じた。
・いろいろな立場の人と知り合いになれた。
・自然の大切さ。大人も昔を思い出し楽しめそうである。
・地域づくりに対して、住民と行政と様々な主体が協働することの大切さ。

○今後の活動について

・人と人との交流の場、拠点をつくっていきたい。
・幅の広い社会教育の分野について、これから学んでいきたい。
・非行少年の立ち直りに関する事業を行いたい。
・この場所の魅力をまず岩出市の人たちに知ってほしい。そんな場を設定したい。
・山や森のことを子供たちと学べる機会を作ることができればと思った。
・子供たちにももっと知ってほしく、アピールしてみようと思った。
・子供たちや地域で活動している方に多く知ってもらうために、体験講座を企画することができればいいと感じた。このような普段訪れないところへ出向いて体験する活動は、とてもいいものになると思う。
・地域にあるリソースをいろいろな取組に結びつけることができるよう、情報を集めていきたい。「元気になる」という話もあったが、参加者の、または参加者間の体験・共有体験が、自尊感情・自己肯定感を育むことにもつながり、健全育成・非行防止にも大切な役割を果たすことができると思う。